

人権センター 図書だより



Vol.18 令和 2年 10月 19日発行

発行：人権センター

TEL.354-8609 FAX.354-8611

http://www.city.yokkaichi.lg.jp/

jinkencenter@city.yokkaichi.mie.jp

12月6日『じんけんフェスタ 2020』開催

記念映画 「あの日のオルガン」

戸田恵梨香 大原櫻子

林家正蔵 夏川結衣 田中直樹 橋爪功

監督 脚本/平松恵美子



©2018「あの日のオルガン」製作委員会

感染症対策のため、今年度は映画上映のみの開催です。

1948（昭和23）年12月10日、国際連合総会で、『世界人権宣言』が採択されました。そして、1949（昭和24）年に、毎年12月10日を最終日とする1週間（12月4日から同月10日まで）が「人権週間」と定められたことを受け、全国各地で啓発活動が行われます。

本市においても下記の通り『じんけんフェスタ 2020』を開催します。

12/6（日）四日市市文化会館 第1ホール

午前の部：10時～12時30分（9時30分開場）

午後の部：13時30分～15時45分（13時開場）



各回定員500人（事前申込制）・入場無料・手話通訳・要約筆記・字幕あり

詳細はHP、広報よっかいち等をご覧ください。

じんけんフェスタ 2020



新型コロナウイルス感染症の情勢により、中止の場合は市ホームページ等でお知らせします。

<作品紹介>

昭和から平成。そして新たな時代へ語り継ぎたい物語。知られざるヒロインたちの感動の実話。

東京も安全ではなくなっていた1944年。国の決定を待たずして、日本で初めて保育園を疎開させることに挑んだ保母たちがいた。誰もが自分のことで精一杯だった時代、彼女たちを突き動かしたものは一体なんだったのか？

太平洋戦争末期、20代を中心とした若手保母たちが、子どものいのちを守るため、53人の園児を連れ、まだ誰もやったことのなかった集団疎開を敢行したいわゆる「疎開保育園」の事実はあまり知られていない。これは、幾多の困難を乗り越え、託されたいのちを守りぬこうとするヒロインたちの奮闘を描いた真実の物語。大切ないのちを未来へつなぐことを願い、毎日を必死で戦った保母たち。

強い信念で時代を切り拓いていった彼女たちの生き様は、時を越えて今を生きる我々を魅了し、大きな勇気と希望を与えてくれる。

「あの日のオルガン」公式ホームページから引用

記念映画原作

「あの日のオルガン 疎開保育園物語」



『あの日のオルガン 疎開保育園物語』（J-1-121 著者：久保つぎこ 朝日新聞出版）

今回上映する映画の原作本です。

太平洋戦争末期、東京都品川区、京浜工業地帯のすぐそばにある戸越保育所では、日に日に空襲が激しくなり、園児たちは命の危険にさらされていました。そんな中、まだ20代の若い保育士たちが、これまで例のなかった未就学児の集団疎開を決意します。同じ東京の、愛育隣保館と合同で行われることになった集団疎開。国中が食糧難のなか、やっと見つかった受け入れ先は、埼玉県蓮田市の無人寺、妙楽寺でした。ここで、保育士11人、園児53人の「疎開保育園」が始まりました。淋しがる子どもたちのケア、深刻な食糧不足、東京大空襲で孤児になってしまった園児…やがて空襲は、疎開保育園のある埼玉にも頻りにやってくるようになり、「私たちのやっていることは、正しいのだろうか。戦争が、終わることはあるのだろうか……？」と、若い保育士たちは、迷いを始めます。

これまで知られてこなかった「疎開保育園」という存在にスポットをあて、戦争が子どもたちを巻き込んでいく様子を、関係者たちへの丹念な取材に基づいて克明に描くノンフィクションです。

<映画に寄せて>

「あの日のオルガン」に資料協力した東京福祉大学

保育児童学部 講師

西脇二葉さんからの

メッセージを

放映します。



戦時下、「子は国の寶（たから）」とうたわれていたにも関わらず、戦局が悪化するや政府から切り捨てられた乳幼児や妊産婦。映画では、東京の下町に生きる子どもを空襲から護るために、幼児のみの集団保育を決定した若き保母たちの活躍に焦点が当てられています。しかし、実際の疎開保育が成立した背景には、疎開先の住民の奮闘がありました。当時の農村も過酷な状況にあったにも関わらず、都会育ちの子どもや保母たちを排除せず、受け入れ、共に生きたのです。

戦時下とコロナ禍を一様に語ることはできませんが、非日常の暮らしの中で、他者を受け入れつつ、共生していくという意味を、この映画を通して四日市の皆さんと共有できれば幸いです。



入荷月	書名	著者等	出版社等	分類番号	
8	治したくない ひがし町診療所の日々	斉藤道雄	みすず書房	F	209
8	丹野智文 笑顔で生きる 認知症とともに	丹野智文	文藝春秋	F	210
8	風太郎不戦日記 1	漫画)勝田文 原作)山田風太郎	講談社	J-5	223
8	正々堂々 私が好きな私で生きていいんだ	西村宏堂	サンマーク出版	A	136
9	相模原障害者殺傷事件	朝日新聞取材班	朝日新聞出版	J-1	126

2020年度 入庫ビデオ/DVD

分類	題名	種別	時間
1 - 192	“尊重する”から始めよう ～公正採用選考の基本を学ぶ～	DVD	29
2 - 31	こころを育てる映像教材集『同級生は外国人』	DVD	12
2 - 32	サラーマット ～あなたの言葉で～	DVD	36
3 - 64	おじゃる丸 ちっちゃいものの大きなちから	DVD	11
5 - 70	共に働くための合理的配慮	DVD	33
5 - 71	こころを育てる映像教材集『義足がくれたもの』	DVD	15
6 - 19	『やさしく』の意味 -おばあちゃんは認知症だった-	DVD	33
6 - 20	はじめて認知症の人に接するあなたへ	DVD	19
7 - 291	お互いを活かし合うための人権シリーズ① 多様性入門	DVD	27
7 - 292	はとよ ひろしまの空を	DVD	21
7 - 293	アゲハがとんだ	DVD	20
7 - 294	こんにちは 金泰九さんーハンセン病問題から学んだことー	DVD	25
7 - 295	多様性を尊重した職場のコミュニケーションと人権Ⅱ 個に向き合い、伝え合う	DVD	25

図書・DVDの貸出について

本数	1回につき5冊(本)まで
期間	貸出及び返却日を含め15日以内
申込方法	直接人権センターへお越しいただくか、電話にてお申込みください。 電話：(059) 354-8609 (内線：3266, 3267)
送付方法	直接人権センターへお越しいただくか、お近くの地区市民センターでお受け取りください。 (ご自宅等への郵送は行っていません)

逡送便で
送る事が出来ます。